

2025（令和 7）年 12 月 14 日
科学技術振興機構（JST）

「第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会」 千葉県代表チームが優勝

JST（理事長 橋本 和仁）が 2025 年 12 月 12 日（金）から 12 月 14 日（日）までの日程で開催した「第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会」（開催場所：兵庫県立武道館（兵庫県姫路市西延末 504））において、千葉県代表チームが優勝しました。

「科学の甲子園ジュニア全国大会」は、全国の中学生在が科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義や楽しさを実感できる場の提供を目的として、2013 年に創設されました。

本大会の予選となる都道府県大会には、総計 27,474 人の中学生がエントリーしました。全国大会では、各都道府県から選出された 6 人が 1 チームとなり、合計 47 チーム、282 人が、理科や数学などの複数分野に関する知識とその活用能力を駆使してさまざまな課題に挑戦しました。

筆記競技、実技競技 2 種目の得点を合計した総合成績により、千葉県代表チームが優勝、神奈川県代表チームが第 2 位、愛知県代表チームが第 3 位となりました。そのほか、産学官の連携による科学技術系人材育成を推進する企業賞を含む、全ての成績については別紙をご参照ください。

「第 14 回科学の甲子園ジュニア全国大会」は、2026 年 12 月中旬に、兵庫県姫路市にて開催される予定です。

JST では、発達段階に応じて児童・生徒の才能を伸ばせるよう体系的な人材育成を推進しています。今後も「科学の甲子園ジュニア全国大会」を始めとする事業の実施を通じて、科学好きの裾野を広げ、児童・生徒が才能を十分に発揮し、切磋琢磨する機会を提供していきます。

大会の概要や出場チームなどの詳細は、以下ウェブサイトを参照してください。

URL : <https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/>

<添付資料>

別 紙：「第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会」成績一覧

参考 1：「第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県代表チーム一覧

参考 2：「第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会」協働パートナー一覧

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JST は、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JST は荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JST は、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

「第13回科学の甲子園ジュニア全国大会」成績一覧

競技・成績	基準	都道府県名
総合成績 第1位 文部科学大臣賞 トヨタ賞	筆記、実技競技の総合得点順	千葉県
総合成績 第2位 科学技術振興機構理事長賞 日本理科教育振興協会賞		神奈川県
総合成績 第3位 兵庫県教育長賞 ひょうご科学技術協会賞		愛知県
総合成績 第4位 姫路市長賞 エムス・テック賞		北海道
総合成績 第5位 日本科学協会賞		埼玉県
筆記競技 第1位 UBE 三菱セメント賞	筆記競技の最高得点	千葉県
筆記競技 第2位 内田洋行賞	筆記競技の第2位	東京都
筆記競技 第3位 リソー教育グループ賞	筆記競技の第3位	奈良県
実技競技① 第1位 東芝賞	実技競技①の最高得点	愛知県
実技競技① 第2位 学研賞	実技競技①の第2位	奈良県
実技競技① 第3位 スリーエムジャパン賞	実技競技①の第3位	千葉県
実技競技② 第1位 SHIMADZU 賞	実技競技②の最高得点	千葉県
実技競技② 第2位 ケニス賞	実技競技②の第2位	愛知県
実技競技② 第3位 ジー・サーチ賞	実技競技②の第3位	埼玉県
企業特別賞 帝人賞	女子生徒応援賞：女子3名以上を含むチームのうち、総合成績最上位のチーム	千葉県
企業特別賞 ナリカ賞	フレッシュマン応援賞：1年生を含むチームのうち、総合成績上位チーム	京都府
企業特別賞 テクノプロ賞	実験スキル賞：実技競技①で優れた実験技術を発揮したチーム	北海道
企業特別賞 スカパーJSAT 賞	工作デザイン賞：実技競技②で優れたデザインを開発したチーム	茨城県

競技・成績	基準	都道府県名
総合成績 第 6 位	筆記、実技競技の総合得点順	福岡県
総合成績 第 7 位		京都府
総合成績 第 8 位		奈良県
総合成績 第 9 位		愛媛県
総合成績 第 10 位		茨城県
筆記競技 第 4 位	筆記競技の得点順	神奈川県
筆記競技 第 5 位		福岡県
実技競技① 第 4 位	実技競技①の得点順	和歌山県
実技競技① 第 5 位		神奈川県
実技競技② 第 4 位	実技競技②の得点順	北海道
実技競技② 第 5 位		神奈川県

「第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県代表チーム一覧

都道府県	学校名
北海道	北嶺中学校
青森県	青森県立三本木高等学校附属中学校
岩手県	奥州市立水沢中学校
宮城県	宮城県仙台二華中学校、仙台市立仙台青陵中等教育学校
秋田県	秋田県立秋田南高等学校中等部、秋田大学教育文化学部附属中学校
山形県	山形県立致道館中学校
福島県	福島大学附属中学校、田村市立船引中学校
茨城県	茨城県立並木中等教育学校
栃木県	作新学院中等部
群馬県	群馬大学共同教育学部附属中学校、伊勢崎市立境西中学校
埼玉県	栄東中学校、埼玉大学教育学部附属中学校
千葉県	市川学園市川中学校
東京都	東京都立小石川中等教育学校、東京都立南多摩中等教育学校
神奈川県	栄光学園中学校、聖光学院中学校
新潟県	新潟大学附属長岡中学校、長岡市立旭岡中学校
富山県	富山大学教育学部附属中学校、小矢部市立津沢中学校、富山市立速星中学校、富山市立堀川中学校
石川県	白山市立松任中学校、金沢市立野田中学校
福井県	福井県立高志中学校
山梨県	北杜市立甲陵中学校、駿台甲府中学校
長野県	長野県屋代高等学校附属中学校、信州大学教育学部附属松本中学校、長野市立櫻ヶ岡中学校
岐阜県	瑞穂市立穂積中学校、岐南町立岐南中学校
静岡県	静岡大学教育学部附属島田中学校
愛知県	刈谷市立依佐美中学校
三重県	三重大学教育学部附属中学校、高田学苑高田中学校
滋賀県	野洲市立野洲中学校、湖南市立甲西北中学校
京都府	京都府立洛北高等学校附属中学校、京都府立福知山高等学校附属中学校
大阪府	大阪教育大学附属池田中学校、高槻中学校
兵庫県	滝川中学校、兵庫教育大学附属中学校

都道府県	学校名
奈良県	西大和学園中学校
和歌山県	近畿大学附属和歌山中学校、智辯学園和歌山中学校
鳥取県	鳥取大学附属中学校、湯梨浜学園中学校
島根県	出雲市立第一中学校、雲南市立三刀屋中学校
岡山県	岡山県立岡山大安寺中等教育学校、岡山県立岡山操山中学校
広島県	広島県立広島中学校、広島学院中学校
山口県	山口県立下関中等教育学校、宇部フロンティア大学附属中学校
徳島県	徳島県立城ノ内中等教育学校、徳島文理中学校
香川県	高松市立桜町中学校、高松市立太田中学校、香川大学教育学部附属高松中学校、 大手前高松中学校
愛媛県	愛光中学校
高知県	土佐中学校
福岡県	久留米大学附設中学校
佐賀県	佐賀大学教育学部附属中学校、弘学館中学校
長崎県	長崎大学教育学部附属中学校
熊本県	真和中学校
大分県	大分大学教育学部附属中学校
宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校
鹿児島県	鹿児島大学教育学部附属中学校
沖縄県	沖縄県立開邦中学校、沖縄県立球陽中学校

「第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会」協働パートナー一覧

(五十音順)

No.	協賛企業・団体
1	株式会社内田洋行
2	株式会社エムス・テック
3	株式会社学研ホールディングス
4	ケニス株式会社
5	株式会社ジー・サーチ
6	株式会社島津製作所／株式会社島津理化
7	スカパーJSAT 株式会社
8	スリーエム ジャパン株式会社
9	帝人株式会社
10	テクノプロ・グループ
11	株式会社東芝
12	トヨタ自動車株式会社
13	株式会社ナリカ
14	公益財団法人日本科学協会
15	公益社団法人日本理科教育振興協会
16	公益財団法人ひょうご科学技術協会
17	UBE 三菱セメント株式会社
18	株式会社リソー教育グループ

No.	応援企業・団体
1	サントリーホールディングス株式会社
2	公益財団法人日本発明振興協会